

学術会議の選挙に関する要望書

関西支部から本部宛に次のような要望書が提出された。

要 望 書

日本気象学会理事長 殿

日本気象学会関西支部長

数年前に行なわれた第6期学術会議会員選挙に際して、気象学会では乱立をさけて気象界の代表者を学術会議に送りこむために、気象学会で推せん者を決めるための選挙を行なうことにしました。

今回の第7期の改選にあつても気象学会でこの選挙が行なわれましたが、その後の取扱について混乱を生じたと思われます。

これは学術会議そのものについての理解の不足（有権者でない人が相当上位で推せんされていた事実などから考えて）によることと、またこの推せん者をきめるための選挙の方法にあいまいな点が多く、その趣旨が会員に周知されていないことによると思ひますから、次回からは次のような方法がとられることを提案します。

1. 学術会議に対する理解および学会の推せん候補を決めるための選挙について会員の理解を深めるための事前のPRを充分して頂きたい。
2. 無資格者に投票されることを避けるために、推せんを受けることを希望する者をあらかじめ募ってから選挙を行なって頂きたい。
3. この選挙の結果を「天気」に公表するに際しては他の機関や個人による推せん者と明確に区別して公表して頂きたい。

千葉、四日市、山口各測候所が発足

4月1日から、防府測候所は山口市に移転、山口測候所として、亀山測候所は四日市に移転、四日市測候所として、また新島測候所は千葉市に移転、千葉測候所として、それぞれ発足することになった。

(気象庁ニュースより)

昭和41年度 秋季大会について

気象学会秋季大会は10月1日(土)、2日(日)、3日(月)に札幌市の北海道大学で開催される予定です。詳細は来月号に告示しますが、例年より研究発表の申込の締切がかなり早くなる見込(7月末か8月上旬)です。